

宇都宮市立細谷小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	64.6	71.0	69.4
	農業や水産業	66.6	74.0	69.0
	工業生産	75.7	79.4	75.4
	情報産業や情報化社会	81.1	82.8	88.7
	日本の歴史	69.1	75.2	72.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	67.2	71.9	67.2
	観察・資料活用・技能	69.7	76.3	70.7
	社会的な事象についての知識・理解	69.5	75.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)

★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	・本校の正答率は64.6%で市の正答率71.0%を大きく下回った。 ・防災マップや会話文を参考に、自然災害がおきた際の自助の大切さについて考えて表現する問題正答率は、74.3%と比較的高いが、市の平均76.2%を下回っている。 ・日本の周囲の国の国旗の問題正答率は、66.2%で市の正答率77.3%を大きく下回っている。	・資料を正確に読み取ることができるよう、練習していくことが必要である。 ・国旗については再確認が必要である。また、日頃よりニュースや時事問題を取り上げ、世界情勢に対する興味・関心を高めていく。
農業や水産業	・本校の正答率は66.6%で市の正答率74.0%を下回った。 ・稲作の工夫や努力について資料を読み取る問題の正答率は、86.5%と比較的高いが、市の平均88.2%を下回っている。 ・食料生産の分布については7.3%の正答率であり、市の正答率84.2%を大きく下回っている。地方と生産の様子を見直す必要がある。	・47都道府県の名称と位置が正しく理解されていない傾向にあるので、再確認していく。 ・農業や水産業は日常生活と深く結びついていることを再確認し、特色を考えさせるようにする。日本の各地域における食料生産の特色や水産物の水揚げなど、地図や統計などの資料からの読み取りや、報道関係の話題を取り扱うことで、興味・関心を高め、定着を図る。
工業生産	・本校の正答率は75.7%で市の正答率79.4%を下回った。 ・工業製品を、工業の種類別に分類・整理する問題の正答率は66.2%で、市の正答率65.0%よりも1.2%高い。 ・工業生産に従事している人々による環境保全の取り組みについては正答率が85.1%であり、市の正答率よりも8.7%低いいため、定着を図る必要がある。	・環境問題や環境保全に関するテーマを取り上げ、時事問題と共に取り組みについて話したり、調べたりしていくことで、興味・関心を高めるようにする。
情報産業や情報化社会	・本校の正答率は81.1%で市の正答率82.8%を1.7%下回った。 ・テレビやラジオ、新聞などの情報手段についての理解の問題の正答率は、94.6%と高く、市の正答率を0.1%上回った。	・情報産業のはたらきや情報化社会について、資料等を活用して調べるようにする。 ・資料の読み取りや日常場面での活用等を確認する必要がある。
日本の歴史	・本校の正答率は69.1%で市の正答率75.2%を6.1%下回った。 ・全体的に正答率は低かったが、江戸時代の特色を資料をもとに考える問題の正答率は、83.8%と比較的高かった。 ・国会開設までの過程についての理解の正答率は、56.8%と、市の正答率より15.2%下回る結果となった。	・歴史の学習は名称等、暗記をする部分が多いが、各時代の流れと人物関係などを押さえるようにする。 ・人物や時代の流れ、文化などを資料から読み取り、まとめていくことで定着を図る。特に人物の功績、各出来事の内容と起きた理由、出来事同士のつながりや文化などをまとめていく。 ・DVDや資料を有効に活用し、歴史に興味をもてるようにする。 ・資料からしっかりと事実を読み取ることができるよう、練習を重ねていく。

